

国際医療福祉大学大学院

INTERNATIONAL UNIVERSITY OF HEALTH AND WELFARE GRADUATE SCHOOL

GUIDEBOOK

特定行為看護師養成分野

(旧:ナースプラクティショナー養成分野)

医療福祉学研究科

■修士課程 保健医療学専攻



医療福祉の多彩なエキスパートを育てる。

国際医療福祉大学



ごあいさつ

特定行為看護師養成分野では、厚生労働省特定行為研修に準拠した最大21区分38行為の特定行為を研修します。さらに、医療面接や身体診察を通して臨床推論を行い、検査・治療のマネジメントが提案できる臨床能力の獲得を目指します。

また、チーム医療の一員として多職種との信頼関係を構築し、プライマリ・クリティカル・周術期領域および、外来、入院、在宅などの場面でも、患者さんのQOL向上のために迅速かつ適切なケアを提供できる診療看護師(NP)の育成を教育の基本としています。

働きながら大学院で学んだ知識を患者さんに活かして自らもスキルアップさせましょう。

分野責任者 栗田 康生 教授

慶應義塾大学医学部卒、博士(医学)、循環器専門医
慶應義塾大学客員教授
国際医療福祉大学三田病院心臓血管センター
国際医療福祉大学医学部医学教育統括センター
国際医療福祉大学大学院生涯学習センター副センター長

Admission Policy

患者のQOL向上のために自らの臨床実践能力を高めることを志す

Diploma Policy

1 実践的身体診察の能力

ジェネラリストとしての能力に医学教育を付与することで対象者を診察する能力を高める

2 情報を判断する能力

対象者の状況を把握するために必要な画像診断・血液化学等の検査を選定し、得られた情報を解読し判断する能力を身につける

3 適切な薬剤を選択できる能力

薬剤の臨床薬理を理解し、治療効果をアセスメントしながら適切な薬剤を選択できる能力を獲得する

4 臨床判断能力

エビデンスに基づいた症候アセスメントを行い、臨床判断能力を高める

5 リーダーシップ能力

チーム医療の一員となり調整するためのリーダーシップ能力を実践の場で身につける

6 マネジメント能力

ヘルスケアの質向上に寄与するマネジメント能力を統合する

7 患者中心の医療を実践する能力

適切な医療者－患者関係を構築し、患者中心の医療を実践する能力を身につける

8 医療倫理に基づく判断と実践能力

医療者として常に求められる倫理的問題に対する感性を高める

9 自己研鑽していく能力

生涯学習者として常に学習し、自己研鑽していく能力を求める

取得学位および認定資格

- 修士号(看護学)
- 特定行為研修修了証(最大21区分38行為)
- 診療看護師(NP)認定試験受験資格



Curriculum Policy

1年次の授業は、基本的に東京赤坂キャンパスでの対面授業(一部オンライン)です。年に数回、成田キャンパスに赴き、臨床検査研究室での微生物検査(グラム染色など)実習、医学部棟での法医学実習などがあります。シミュレーション教育を積極的に取り入れています。

2年次は、臨床能力評価(OSCE)合格者が720時間(およそ5か月)の臨床実習を行い、その中で経験した10症例をとりまとめて考察し、課題研究として論文化します。

入 学	基礎臨床科目	専門科目	OSCE (客観的臨床能力試験)	統合科目	課題研究論文成果発表会	NP教育大学院協議会 NP資格認定試験修了
	臨床病態生理学Ⅰ・Ⅱ 臨床推論Ⅰ・Ⅱ フィジカルアセスメントⅠ・Ⅱ 臨床薬理学Ⅰ・Ⅱ 疾病・臨床病態概論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	呼吸管理 循環管理 ドレーン管理 感染管理 ろう孔管理 創傷管理 カテーテル管理 診断薬物療法 法医学・法医解剖実習		特定行為含む 臨床実習		
	医療安全					
	診療看護師実践Ⅰ・Ⅱ					
	診療看護師研究法／診療看護師課題研究					

1年次前期

1年次後期～2年次前期

2年次後期



本分野の特長

働きながら学べるカリキュラム

1年次の授業（ピンク部分）は、毎週木金土で構成されており、それ以外は、働くことが可能です。

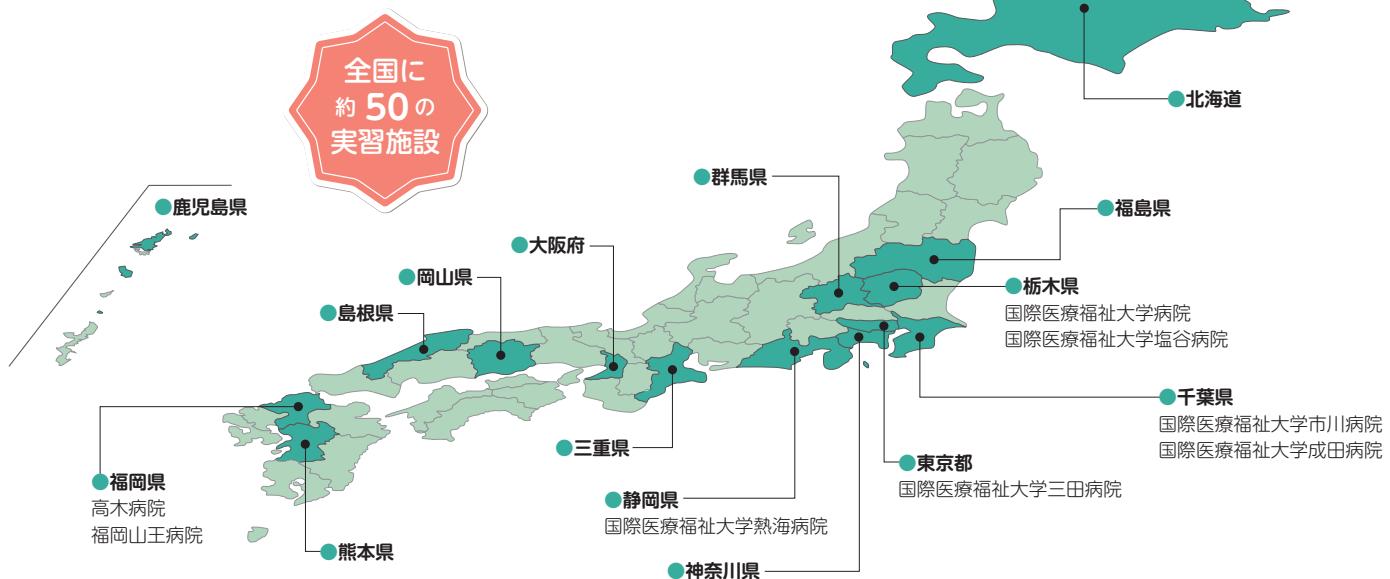
日	月	火	水	木	金	土
勤務可能			13:00～ 21:15	9:00～ 21:15	9:00～ 19:30	



豊富な実習協力施設

臨床実習は大学病院の救命救急センター、地域の病院や在宅クリニックなどで実施します。実習施設は以下に記載の本学の附属・関連病院をはじめ、全国に約50施設用意しています。実習場所は、学生のビジョンに合わせて希望をとり、全体で調整します。

在宅医療施設での実習は必修です。離島や地域医療実習も選択可能です。学生の所属する施設が許可すれば、一部の実習を所属施設で行うことの検討も可能です。



充実した指導体制

- 大学院教員をはじめ、グループ関連病院の専門医や医学部教員による医学の講義、演習が充実。
- NP教育大学院協議会理事長、NP学会会長、修了生によるNPの実践に関する基調講演。
- プライマリケア・クリティカルケア両領域の修了生教員の手厚いサポート。

詳しくは、大学院ホームページをご参照ください。

https://www.iuhw.ac.jp/daigakuin/faculty/health_welfare/nurse_p/



出願について

■ 出願資格

- ① 日本での看護師の臨床経験5年以上
- ② 2年次の臨床実習に休職できる者
- ③ 組織などの他者の推薦状が必要
- ④ 分野教員との事前面談が必要

※専門学校卒は、書類で資格審査を実施します。
※事前面談の日程調整は下記までご連絡ください。

分野責任者 栗田 康生 Email: kurita-yasuo@ihwg.jp

■ 入学試験(定員25名前後)

- ① 書類審査
- ② 筆記試験
- ③ 小論文
- ④ 面接

在校生・修了生のメッセージ



在校生 宮坂 陽子 さん

私は病院勤務を経て、現在訪問看護ステーションに勤務しています。在宅療養をされている患者さんは対象疾患が幅広い上、看護師が訪問時に患者さんとご家族が抱く疑問に答える場面が多く、医学的知識の必要性を痛感していました。また、緊急訪問では、患者さんの訴えや状態から何が起こっているのか推察し、経過観察か往診を待つか、もしくは救急搬送とするかの対応を決めなければなりません。そのため、より適切な対応をとれるよう疾患・治療について体系的に学び、臨床推論力をつけたいと本大学院への進学を決めました。

三人の子育てと仕事があるので大変な時もありますが、先生方のご理解があり順調に学生生活を送っています。同期にも恵まれ、その存在が互いに励みになっていると感じます。自身が学びたい事を主体的に学ぶという事はとても楽しいもので、忙しいですがあまり苦になりません。

診療看護師（NP）として、患者さん、また周囲の医療スタッフにとってより心強い存在となるよう、卒業後どのように在宅療養の場に貢献できるかを摸索しながら、今後も勉学に励んでいきます。



修了生 田中 康二郎 さん

私は2019年度に本分野を修了し、卒後研修を経て、現在は診療看護師（NP）として循環器内科で活動しています。循環器内科では救急外来や病棟対応に加え、心臓カテーテル及びアブレーション術など循環器全般の治療に参加しています。また、循環器領域で必要となる特定行為を実践し、末梢留置型中心静脈カテーテル（PICC）については他科からの依頼にも対応しています。本分野で修学した知識や技術を遺憾なく発揮するとともに、医師や多職種と協働しながら充実した日々を送っています。しかし、順風満帆に見える私のNP活動ですが、決してそのようなことはなく、NPの立ち上げから診療看護部の創設といった波乱曲折を経て、現在に至っています。

大学病院という大きな組織の中で何かを成し遂げるためには、多くの困難と向き合うことがあります。そうした困難も、大学院で出会い、苦楽を共にした教員や同期に支えられながら、NPという新たな文化を浸透させ、病院運営や地域医療への貢献を目指し、日々着実に歩みを進めてきました。

大学院での2年間は、NPとして臨床実践を行うための知識はもちろんのこと、多様な価値観を培う大変有意義で充実した時間でした。このような経験が、NPとして活動する私の原点となっています。

★受講キャンパスのご案内

特定行為看護師養成分野は東京赤坂キャンパスのみで開講します。大田原・成田・小田原・熱海・福岡・大川キャンパスでは受講できませんのでご了承ください。

医療福祉学研究科

修士課程

保健医療学専攻

- 看護学分野
- 特定行為看護師養成分野
(旧:ナースプラクティショナー養成分野)
- 助産学分野
- 理学療法学分野
- 作業療法学分野
- 言語聴覚分野
- 視機能療法学分野
- 福祉支援工学分野
- リハビリテーション学分野
- 放射線・情報科学分野
- 生殖補助医療胚培養分野
- 医療福祉教育・管理分野
- 臨床検査学分野
- 災害医療分野
- 遺伝カウンセリング分野
- 医療機器イノベーション分野

医療福祉経営専攻

- 医療経営管理分野
- 診療情報アナリスト養成分野
- 先進的ケア・ネットワーク開発研究分野
- 医療福祉分野
- 医療福祉ジャーナリズム分野
- 医療通訳・国際医療マネジメント分野

臨床心理学専攻

博士課程

保健医療学専攻

- 看護学分野
- 助産学分野
- 理学療法学分野
- 作業療法学分野
- 言語聴覚分野
- 視機能療法学分野
- 福祉支援工学分野
- リハビリテーション学分野
- 放射線・情報科学分野
- 生殖補助医療胚培養分野
- 医療福祉教育・管理分野
- 臨床検査学分野
- 災害医療分野
- 医療遺伝学分野
- 医療福祉経営学分野
- 診療情報管理・分析学分野
- 医療福祉国際協力学分野
- 先進的ケア・ネットワーク開発研究分野
- 医療福祉分野
- 医療福祉ジャーナリズム分野
- 臨床心理学分野

薬学研究科

博士課程（4年制）

医療・生命薬学専攻

薬科学研究科

修士課程（2年制）

生命薬科学専攻

- 医療薬学分野

医学研究科

博士課程

医学専攻

- 基础医学研究分野
- 臨床医学研究分野
- 社会医学研究分野

修士課程

公衆衛生学専攻

- 國際保健・感染症学分野
- 疫学・社会予防医学分野
- 医療福祉政策・管理学分野

大学院に関するお問い合わせ

東京赤坂キャンパス事務部 Tel : 03-5574-3900 〒107-8402 東京都港区赤坂4-1-26

※修士課程は、専門学校等を卒業された満22歳以上の方も出願可能です（国家資格保持等の条件を満たしている必要があります）。

学生募集要項は次のいずれかの方法でご請求ください

Tel 03-5574-3903 E-mail daigakuin-nyushi@iuhw.ac.jp HP <https://www.iuhw.ac.jp/daigakuin/>

国際医療福祉大学

- 大田原キャンパス
- 成田キャンパス
- 東京赤坂キャンパス
- 小田原キャンパス
- 大川キャンパス

国際医療福祉大学附属病院

- 国際医療福祉大学病院（栃木県）
- 国際医療福祉大学塩谷病院（栃木県）
- 国際医療福祉大学成田病院（千葉県）
- 国際医療福祉大学市川病院（千葉県）
- 国際医療福祉大学三田病院（東京都）
- 国際医療福祉大学熱海病院（静岡県）